

ハイライト

- ①新入会者紹介
- ②じゃむぎゃん ③もぐもぐミッション

No.251
Sep. 2025

宣教レポート

近況&祈禱課題

インフォメーション



招きに応じて



日本語なしで協力



男子4人



水鉄砲バトル



変化

インドネシア 高橋央也・恵



「数人でも集まれば感謝。」そう言って始めた牧師館での初めてのBBQと賛美集会。神様は思いもかけない多くの参加者を与えてくださいました。BBQはそれぞれが自分の役割を見つけて準備し、生き生きとした交わりの時間でした。恵がリードした賛美集会は、深く、皆さんの心の扉を叩いたようです。終わった後、ある姉妹はまぶたを赤く腫らし、しかし顔を輝かせて「賛美の間、ずっと涙でした」と。ある兄弟は「その日の夜、次の賛美集会をしている夢を見た」そうです。コメントから聖霊が働かれた深い喜びがそれぞれの心にあることに感謝しました。央也は大学でメッセージを語る機会を頂きました。英語が不十分な私ですが使徒6章が与えられました。成長する初代教会が直面した食と言葉という実的な課題の解決に「御言葉と祈り」を掲げる弟子たち。結果、初代教会は一致し、教会の

外へ福音が広げられていく宣教のみ業。私自身が「み言葉と祈り」の大切さと、真理を再確認させて頂く時でした。8月からは協力教団が運営する児童福祉施設で週1回の日本語教育を始めます。経済的問題を抱える家庭にあって、「神様に愛されている」「将来への希望がある」と夢を抱く子どもたちのお手伝いができますように。キャンプは9月5～7日がバリJCF、10月25、26日がジャカルタJCFです。駐在員の一時帰国や、学校によって休みが違う中、皆さんが調整して開催、参加します。異国の地で力戦奮闘している方々が交わりの中で、癒され、励まされ、共に歩んでくださる主に出会う、そんな時となりますように、どうぞお祈りください。「サンパイ・ジュンパ・ラギ」またお会いしましょう。(央也)



主が導かれる世界宣教 インドネシア R・K



現在、野口佳奈宣教師（私が仕える子どもたちのお母さん）と高山嘉津子さんが重い病と戦っておられます。この知らせを聞いた頃私も、宣教地の霊的な攻撃と圧迫に苦しんでいたもので、世界宣教を阻む暗闇の力をまざまざと思い知らされました。しかし全てはそれを司る主の許しの中で起っている事を思う時、必ず主が最善をなされ、必ず奇蹟は起こると信じます。

一方、非常事態の中で目に見える現実是不信仰を招きます。しかし、すでに世に勝利された主は、十字架上で私たちの罪一切を引き受けて死なれ、3日目に死から甦られ、今も生きておられます。この主の勝利に与るために求められていることは、ただ一つ、主を信じる事だけです。そして、この事実の上に立つために絶えず主の助けを求め、御言葉に寄り頼み、御言葉の告白と宣言を持って、この不信仰を否とする祈りの戦いと、そ

して主の勝利の確信に至るまで祈りきる必要を日々覚えています。主は、愛する先生方のこの戦いを通して私たちに祈ることを求められ、聖書にある通り、世界宣教に伴う主の力が現われ、イエスこそ救い主であると多くの魂が告白し、主に栄光を帰する事を願っておられると思います。

「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。…信じる者には次のようなしるしが伴う。彼らはわたしの名によって悪霊を追い出し、新しい言葉を語る。手で蛇をつかみ、また、毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば治る。」…「弟子たちは出かけて行って、至るところで宣教した。主は彼らと共に働き、彼らの語る言葉が真実であることを、それに伴うしるしによってはっきりとお示しになった。」(マルコ16:15-19)

近況＆祈禱課題

北フランス 宮坂鉄也・ジャンネメ

- ・購入した家の修繕工事を6か月かけて終え、無事引っ越ししました。感謝。色々問題はありましたが、多くの働き手を与えられました。このことを通して、自分の信仰がすぐにぐらつくものであることが示されました。これからこの地に腰を据えて、どのように働きを続けて行ったらよいか、主に示されますように。
- ・6月に、もぐもぐミッションで山中さんと友人のいずみさんが来てくださり、教

会の兄弟姉妹に日本食を振舞い、証もとても励ましになりました。感謝。

- ・これまでずっと献金でサポートしてくれていた家族が、諸事情で続けられなくなり、主が新たな支え手を与えてくださるよう。

台湾 高井ハラー由紀

- ・台南神学院での奉仕（授業、図書館、出版業務）において、今年度も知恵と力が与えられるように。
- ・TICC 牧会チームの働きが強められるよ

うに。

- ・次男のアメリカでの大学生活と信仰生活が守られ祝されるように。
- ・Aさんの大学院での学びが守られ、心身の癒しが与えられ、信仰に導かれるように。

タイ 新納真司・玉皇

- ・ビザの更新のために
- ・5月から始まった無料英会話教室は参加者が与えられ好評のうちに終わることが出来ました。引き続き、9月25日から



既におられるまことの神



要配慮国 ちえ

この国に生まれこの国で生きる人々は、人の手によって作られた物が神であると教えられ、既におられる神を求めることなく、目に見える形ある神々を祀り自らの力で生きています。これは、まことの神を知らずに生きていた私たち先に救われたクリスチャンたちと何ら変わりはありません。私たちが幸いだっただのは、様々な形で福音を聞く機会が与えられたことです。この国は、信仰の自由が認められているはずの世界最大の民主主義国であるにも関わらず、それを認めない文化と社会の構造があります。それでも福音を届けることを諦めないまことの神は、福音を妨げる全てのものを退けて、「わたしは、ここにいる。わたしのところに来なさい。」と彼らを招いておられます。おそらく、救いを求める人々にも容赦なく病は襲いかかり迫害も彼らに迫ってくるかもしれません。それでも、神は生きて働

かれ彼らが求める前から既におられた唯一の神だと知ることができれば、彼らは、虚しい偶像から解放され、まことの神を求めるでしょう。苦しみさえも主と共に、また、喜びも主と共に歩む生き方へと変えられるなら何と幸いです。また、福音を伝える者は、それを見て主を褒め称える恵みに与っているのです。救いは主のもの主がそれを成し遂げられるのです。福音の種を蒔く小さき者たちにも主のご真実を見せてくださっています。この国の人々がまことの神イエス・キリストに出会い、彼ら自らがイエス様とともに歩む道を選択することが出来ます様に。また、彼らのたましいの回復と新しい命の為に背後での皆様のお祈りをお願い致します。



新しい風



要配慮国 みか

嬉しいことがありました。日ごろ関わっている M 族の女子学生が「キリスト教とはどんなものなのか、知りたいので教会に行ってみたい」と話してくれたのです。周りの学生たちに「改宗するつもりなのか？」などと冷やかされ、「そうじゃない、ただ知りたいだけ」と否定していましたが、彼女と関わり始めて約 2 年、何を考え、どう感じているのか判断しにくいと思っていた彼女の口から出た、嬉しい言葉でした。

彼らの宗教は彼らの生活から切り離すことができないほど密接につながっています。その中で私は、クリスチャンの教師として彼らと共に歩む中で、まずは「唯一なる創造主を信じている」ところから共通点を見だし、そして彼らが知らない「イエス様の十字架の死と復活の力」によって生きる力強さを実践、証明していくことに取り組んできました。

私たちは主の大きなご計画の中で、それぞれ与えられた一部分を担わせていただいております、ジグソーパズルのようにそれらが組み合わされた時に、大きな素晴らしい絵画が完成します。自分の 1 ピースだけを見ていると、「これで大丈夫なんだろうか」と思うこともあります。失敗も多くありました。しかし主が置いてくださった場所にとどまり、御心を追い求める時に、主は少しずつご自身の栄光のご計画の一端を見せ始めてくださいます。

「先の事どもを思い出すな。昔の事どもを考えるな。見よ、わたしは新しいことをする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。」(イザヤ 43:18-19)

第 3 回コースが始まります。講師のサンドラ姉のために。参加者の中から神様を求める方が起こされるように。

インドネシア 浅井俊貴・ひかり

- ・主がこの教育宣教の働きを用いて、教育・福音を必要としている子供たちに届いていくことができるように。
- ・新校舎が完成し、7 月より新学期が始まった。今年度も様々な国や地域から、たくさんの方の新入生が与えられた。彼らの学びが守られ、祝福されるように。

韓国 長澤久美子

- ・ガンの治療から 6 ヶ月経過後の検査結果が出る。主のお守りがありますように。

- ・顔の痙攣が 3 年前から始まり、治療を継続中。病院によるとこれは後遺症とのこと。しっかり治療し治りますように。

宣教支援広告

福音を伝え、希望と平安を届ける看護師募集

礼拝ができる
老人ホーム

晴れる家
HARERUYA

看
護
師
募
集
中

■訪問看護 ■デイサービス ■施設看護師

やすらぎの介護
シャローム
shalom group

求人のご応募 / お問い合わせ 気軽にどうぞ

詳しくは
WEBで
看護師
採用サイト

0120-998-414

シャローム株式会社 堺市堺区大仙中町6-24 (受付時間: 月~金 9:00~17:30)

新入会者紹介

要配慮国 戸山大地

アンテオケ宣教会の皆様、初めまして。4月からアンテオケ宣教会に入らせていただいている戸山大地です。皆様とともに神様の宣教のわざに仕える喜びを感謝いたします。

私は、東京の新宿で生まれ育ち、家族はクリスチャンではありませんでした。私が6歳の時から家族で教会に導かれ、まず、母がイエス様と出会い救われました。私は、小学6年生の時に、長野の聖山で持たれていたぶっとびキャンプ(小学生キャンプ)で神様の愛に触れ、イエス様を信じました。同じ年、ある朝、教会の祈祷会で祈っているとき、神様はある映像を見せてくださいました。私は、衛星から地球全体を見ました。そして、突然、1つの地域にクローズアップしたのです。そこは、1国北部の地域でした。当時、小学生の私の知識で、「1国の北あたりかな」と考えていました。すると、神様は「この地域のために祈って欲しい」と私の心に語られましたが、知っている教会も友達もない地域のためにどのように祈ればよいのか、小学生の私には分かりませんでした。しかし、その地域のために祈りはじめると、涙が溢れてきました。

高校生のとき、献身に導かれました。牧師や日本での教会開拓、そして小学生時代の祈りの体験から宣教師になることなど、色々と考えましたが、「私の人生をどのように使いたいですか」と神様に祈る中で、イザヤ書60章が与えられました。神様が与えてくださった召しはシンプルでした。暗闇にイエス様の光を輝かせる。国を越えて主に仕えることを受け取りました。

神様は、聖書学校での学び、現地教会との出会い、農業研修と私の思いを越えて、1歩ずつ導いてくださいました。そして、今年、現地1国へと送り出されることを心から感謝します。現地に入り2か月が過ぎようとしています。まずは、語学の学びと現地の人たちとの関係作りからはじめています。暗闇の中に生きる1国の人々を主の光が照らされ、救いの御業が起こるようにお祈りください。どんな深い暗闇に生きる人々にもイエス様は届くことができます。すべての未伝コミュニティへ福音を伝えるため、主に捧げていきたいです。

スウェーデン派遣 Y・I

12歳の時、教会で行われた集会で神様の愛に深く触れました。その夜、家に帰ってから私の心にはポカポカと温かい主の臨在が満ちていました。それを味わいながら自分の部屋で机の前に座り、集会で起こったことを思い返していると、一枚の写真のような光景が私の目に飛び込んできました。それは、どこか異国の貧しい国で子どもたちと私が一緒にいて、生活しながらイエス様を分かち合っている姿でした。それを見た時、「ここはアフリカだ!」と思いました。また、「人にとって一番必要なのは、衣食住以上にこの満ちたしだ。私はこれを届けたい。たとえ一人でも聖書一つ持ってアフリカに行こう!」と。

導きを求めていた2019年、教会からの宣教チームで北欧を訪れました。そこで初めて、中東・アフリカからの難民たちと出会いました。彼らは、戦争や紛争、迫害などから逃れて来た人々で、殆ど全員がイスラム教徒、未伝民族が集中する宣教困難な地域の出身者たちでした。そんな人々が目の前にいて、共に食べたり飲んだり笑ったり、触れ合うことのできる環境にとっても驚きました。彼らが賛美歌と聖書の言葉に耳を傾け、心を開いている姿を見た時、主は私の心に「目を上げて畑を見なさい。色づいて刈り入れるばかりになっています。(ヨハネ4:35)」と語ってくださいました。

スウェーデンへ視察に訪れた時、ある働き人がこう言いました。「今、地理は変わった。宣教は変わった。民は動いている。国境や言語を超えて、あらゆる所からあらゆる所へ宣教する時代になった。」アフリカから場所は北欧に変わり、アフリカ本土では届いていくことの難しい人々に宣教する機会が与えられました。難民が難民となった背景には、惨憺たる世界の現状がありますが、神はそれさえも用い、全ての民族に福音を聞く機会を与えています。人の計った悪さをも、良いことのための計らいとなされる主(創世記50:20)が、難民の窮状にも働いてくださると信じています。難民たちが弟子とされ、自民族への宣教者としても用いられることを期待し、私も生涯をささげて仕えていきたいと思います。

近況 & 祈祷課題

国内 国際教会教会 宇井英樹・由美

- ・東京ニューライフの歩みを主が祝福してくださるように。新しい人々が加えられるように。
- ・教会を共に建て上げていく働き人、特にピアノ(あるいはギター)の奏楽者、ソングリーダー、説教者が与えられるように。
- ・私たちの教会、また午後の中国語教会の礼拝場所のため。

バルギー 川上寧・真咲

- ・キリスト教絵画で英語と聖書を学ぶ会(毎週月曜)に半年間出席した大学生が7月に本帰国しました。彼が日本の教会に繋がりますように。
- ・9月に再開する上記の会に、これまでの参加者が元気に参加し、更に新しい参加者も与えられますように。
- ・山中敬子姉と共に開催した日本食フェスティバルが大盛況(100名以上参加)のうちに終わりました。お祈りありがとうございました。

ドイツ 井野葉由美

- ・新会堂の本契約ができたことに感謝。
- ・礼拝に集う人が教会員となって建て上げられていくように。
- ・9月半ばから10月のデピューテーション期間中、留守の間、教会が守られるように。

モンゴル 高橋真一・千恵美

- ・ウンドルウラーンの永遠のイエス教会に後継者が与えられるように。村の子ども伝道が前進するように。

じゃむきやん／もぐもぐミッション

じゃむきやん報告

第3回目となる世界宣教ユースキャンプ「じゃむきやん」が、8/5(火)～7(木)に奈良県生駒市のKBI(関西聖書学院)にて開催されました。恒例となった鶏の解体に続いて、主の血が流されたことを覚えて聖餐式。今年初のプログラムで、山道を往復1時間かけての水汲み、その夜は自分が運んだ水だけで入浴。各集会では、現役宣教師の神戸希望宣教師の証し、高橋真一師、小森康三師、安川圭吾師からメッセージが語られました。準備運営の多くを担っていた高山嘉津子事務局長が療養中で不在でしたが、世界中で捧げられている祈りに支えられ、大田裕作・伯子総主事夫妻、吉永輝次主事、小森仁美師、大喜多勝利理事、公認ボランティアの成田淳さんと、山中敬子さん・渡邊奈緒美さんをはじめとしたキッチン奉仕者、4人のKBI生たち、多くのスタッフが協力してとても充実したプログラムになりました。主の御名を心から賛美します。(準備委員 佐藤摂子)

本当に内容豊かな、一般的なキャンプとは一味違ったキャンプがなされたと思って主に感謝しています。宣教というごく真剣な応答を求められるキャンプを重ねてきて、今年は特に単純に「やります！捧げます！立ち上がります！」という盛り上がった応答だけでなく、本当に宣教の主に応答するために傷や過去、自己受容に関することや内面を探られる良い意味で真剣さや冷静さも深く流れていたキャンプだったなぁと感じました。真摯な応答が捧げられ、主がその応答を覚えていてくださることに感謝しています。数年後、10年後、このキャンパーの中から宣教師が必ず起こってくるし、こういう宣教の思いを与えられているユースと繋がれたことを嬉しく思います！(準備委員長 小森康三)

もぐもぐミッション (Japanese Food Festival) 報告 ベルギー 川上寧・真咲

6月15日、ブリュッセルの国際教会にて「もぐもぐミッション」を開催しました。このイベントはアンテオケ公認ボランティアである山中敬子姉が中心となったものでしたが、実施に際しては高山事務局長の仲介がありましたことを申し添えます。

初めは用意する食事の量などで戸惑うこともあり、都度山中姉とLINEで相談させていただきながら進めました。国際教会のメンバーが、日本に関心のある友人を誘って来てくれればと思っていましたが、折角なら日本人もということで、毎週日本人対象にやっているバイブル・ワークショップのメンバーにも声を掛けてみました。

6月に入り教会が宣伝してくださり、徐々に機運が高まり、ワークショップのメンバーも積極的にお手伝いくださり、当日は何と100名以上の方が参加されました。日本人も大勢来られ、将来的に日本人コミュニティの広がりを予感させるものでした。

何より嬉しかったことは、ワークショップのメンバーが神様の御手にしっかりと捉えられていることが実感できたことです。多くの労力をお捧げくださった山中敬子姉、ウィルキンイズみ姉、また仲介の労をお取りくださった高山嘉津子事務局長を始め、お祈りくださったお一人おひとりに心から感謝し、主にご栄光をお返しします。



- ・短期アウトリーチの奉仕の祝福と、最奥地アウトリーチの実現のために。
- ・バギー師家族の守りと祝福。経済、子育て、特に自閉症のソノル君の暮らし。
- ・千恵美のシェーグレン症候群の癒し。

イギリス 相馬裕美

- ・ミニストリーののための家が与えられるように。オクスフォードには宣教のための家がありません。留学生が神様に会える家が与えられるように。
- ・夏の短期留学生カフェに来てくれた留学

生達がバイブルスタディに来てくれるように。

- ・私自身が神様にしっかり向き合い、十分な休息、心から祈り合える仲間が与えられるように。
- ・経済的に満たされるように。

インドネシア 渡部惇

- ・治療のため日本に一時帰国をしています。手術をしましたが、無事に治療が終わり、インドネシアに再派遣されますように。
- ・一時帰国中のため、お休みしているチカ

ラン日本語キリスト者集会が主のタイミングで再開できますように。

- ・現地でのインドネシア人学生への日本語教育に知恵と力が与えられるように。日本人宣教の働きとのバランスが良くできますように。



新しい出会い～主の光が届きますように



要配慮国 N・K

「起きよ。輝け。まことにあなたの光が来る。」イザヤ 60 章をいただいて 1 年 2 ヶ月の 1 期を終え、3 月末に帰国しました。デピューテーションで皆様にお祈りいただき、喜びの再会は、感謝でいっぱいです。今回は 10 月 14 日に渡航予定です。また、同じビジョンを持った団体と出会うように長い期間お祈り下さって、昨年、クリスチャンの外資系フェアトレード会社 HFC と出会いました。現地の女性たちが手作りの布製品やアクセサリーを作っています。女性の尊厳を取り戻し、人身売買を終わらせ、女性の搾取に終止符を打つことをビジョンにしています。私は日本で長く従事してきたテキスタイルデザインとデボーションリードのボランティアスタッフとして関わる予定です。

その傍ら、昨年導かれた奥地伝道と村や B 族の女性たちに

も物作りと職が得られるようサポートしたいと願っています。HFC での奉仕は村の人々を助けるのに役立つと思います。今回、大田裕作総主事と伯子先生が A 国に来られ、HFC と B 族の施設も訪問して下さいました。民族階級差別で希望がなく、この国の人々だけではどうする事もできない、外国人クリスチャンの助けが必要だという事をご理解頂きました。現在、HFC では日本の輸入先を求めており、販路ができるようにお祈りください。また、外国人のビザ取得が年々厳しくなっています。安定したビザが得られるために神の助けと知恵が必要です。どうぞ、お祈りください。合わせて、現地の言葉と英語の上達、今後どの民族にアプローチしていくかが示されて民族語も学ぶことができるように、彼らに神の光、主の命と希望が与えられていくようにお祈りよろしくお願いします。



感謝と近況のご報告



メディア伝道 岡本告・涼子

いつもお祈りいただき、ありがとうございます。

今年から本格的に YouTube での宣教を開始し、「岡本牧師のキリスト教 Q&A」というチャンネルに約 200 本の動画を公開して、多くの方々にイエス様の愛と救いの福音を伝えています。「私もクリスチャンになりたいです」と言ってくださる方、疑問や悩みを相談してくださる方々があり、登録者数も当初 30 人から 1000 人近くに増え、オンライン宣教は大いに祝福されています。

ところで、海外邦人宣教に関してもご報告があります。海外邦人教会と祈り、話し合い、感謝なことに招聘の話もありました。ただ、長男が受験生、来年は次男も受験生となるため、家内は国内に残り、私が単身派遣という形になります。アンテオケ宣教会では、派遣は夫婦帯同が原則であり、特別の事情がな

い限り 2 ヶ月以上の別居状態は避けるべきこととされているため、残念ながら、今回派遣の承認を得られませんでした。邦人宣教のためにずっと祈ってきたので、大変ショックでしたが、その後の主の導きによって、2 つのことに気づかされました。

・ひとつは YouTube で世界中に宣教することができること。改めてオンライン宣教の可能性に気づかれ、励んできました。

・もうひとつは子どもたちの大学入学まで待つのは、以前なら耐え難い長さに感じたでしょうが、現在の私にはそれほど長く感じないことに気づきました。

オンライン宣教、そして国内外の無牧教会の要請にこたえてイエス様の福音を伝えつつ、主のベストタイミングに備えていきたい、今後ともお祈りをよろしくお願い申し上げます。(告)

近況 & 祈禱課題

アルゼンチン 在原繁・津紀子

- ・ピライ教会の会堂建設が、年内に完成できるように。30 名礼拝を目指し、祈り会と弟子化訓練を熱くするように。
- ・貧しい家庭への生活支援(食料品)、3 名の子供達への奨学金支援を再開できるように。
- ・牧師夫妻の健康が守られるように。津紀子師は骨粗鬆症、繁師は前立腺肥大症と腰痛を抱え、重労働ができません。

タンザニア・日本ベース

安川圭吾・美穂

- ・インド人教会が祝福され、ハニット牧師夫妻の働きがますます豊かなものとなりますように。
- ・召された G 兄のご遺族に主の慰めがありますように。
- ・美穂の聖書の授業を通して、生徒たちが救われますように。
- ・実結祈と剣語の学校生活が守られますように。

韓国 朴ダニエル・イム ヨンジョフ

- ・9 月からの JBA 18 期訓練が祝福されますように。
- ・統一協会を脱会した牧師とともに、日本人妻の脱会のための働きを進めることができますように。

宣教支援広告

主イエスと共に、植林や下草刈り、
山やお庭の手入れを行う阿蘇の林業会社です

何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。
コロサイ 3:23

合同会社 阿蘇ジーザスフォレストリー <https://asojesusf.wixsite.com/jesus>

インフォメーション

献金芳名リスト・教会および団体（4～6月）

アルゼンチン宣教を支える会（4）石坂師を支える会（3）泉佐野福音 一麦東京 井野師を支える会（3）インドネシア福音（2）宇井師を支える会（3）上田教会（2）浦和福音（2）大磯キリスト（2）大野キリスト 小矢部キリスト 片柳福音自由（2）金沢独立 可児福音（2）カナンブレイズチャーチ 鎌倉海岸 行田カベナント 京都シオンの丘（3）久米麗を支える会（3）クリスチャンフェローシップチャーチ 神戸希望を支える会（3）郡山キリスト（4）御殿場純福音 堺福音 静内新生キリスト JEC 海外宣教委員会 ジョイチャペル 鈴鹿キリスト福音（3）泉南福音 相馬師を支える会（3）高石聖書 高松シオン（6）垂水 高橋央也・恵と共に歩む会（3）タンザニアミッション（3）東栄福音（3）東京カベナント 東京若枝（3）戸山師を支える会（2）名古屋一麦（3）奈良福音（3）日本イエス教団事務所（3）朴師を支える会（3）平塚福音 プラトナの会（3）北海道聖書学院学生会 本郷台（3）未伝地ミッションを支える会（3）モンゴルミッションジャパン（4）八尾福音北九州チャペル 大和カルバリ・チャペル（3）横浜白山道 ライトハウス新宿チャーチ ライフリバーチャーチ浜北 渡部惇師を支える会（3）匿名

献金芳名リスト・個人（4～6月）

秋元さん 浅井俊貴・ひかり 新江雅宏・裕子 一箭真理子 伊田公一 井野葉由美 岩井輝子（3）Insook Kim 宇井英樹・由美（3）小鹿野輝芳 オーバトン来水 甲斐博 川上寧・真咲 島谷みどり 城山直子 杉山準規 高井ヘラー由紀（3）高山嘉津子（2）南雲恵理子 林正敏（2）福澤圭子 福本和代 星出卓也・薫（3）三浦岸雄（3）森和亮 森川桂造 山下祐弘（3）匿名（6）
（教会・団体・個人 計 167 件）

事務局からお願い

ご献金のお振込みには、所定の赤色の払込取扱票か、「ゆうちょダイレクト」をご利用ください。

アンテオケ宣教会の口座情報

●ゆうちょ銀行

00170 - 4 - 10379

●三菱UFJ銀行

池袋東口支店（普通）1068695

オンライン献金

利便性のために、これまでの献金あて先の他に、オンライン献金を始めました。ご利用いただける方は、こちらのQRコードからご利用ください。



（お詫び）以前配布した派遣宣教師一覧の後藤直子理事の肩書は浦和福音教会牧師夫人でした。お詫びして訂正します。

伝道者の書 11 章 1 節

「世界チームの一員として」

アンテオケ宣教会総主事 大田裕作

去る 7 月 10 日から約 2 週間、家内と二人でアジアにて奉仕中の 6 組の宣教師がたを問安しました。彼らの奉仕の現場を訪れ、レポートの字面やオンラインでの表情や声だけでは伝え切れない現地の霊的な環境を共有し、宣教戦略をお聞きして祈り合うことができました。I 国では着任間もない戸山兄、まずは現地語の習得が第一課題。語学学校の寮に住んでよく適応しながら学んでおられました。同じく I 国の M 師、夫君 K 師、またこの秋日本に招待しています S 師とゆっくり交わり。夫婦での宣教も 20 年を超えて将来的な展望も語り合いました。A 国では日本に帰国中の K 師が再赴任後に協力したい団体を訪ね、またかつて森敏師が導いた方々、協力した牧師・宣教師がたとお会いして大いに励まされま

した。インドネシアでは JKT の日本語教会で浅井師一家、高橋央也夫妻とともに礼拝を捧げ、また要配慮環境の M 師、Y 師一家と豊かな時間が与えられました。Y 師はいよいよ日本語教育というチャンネルを通して現地に深く入っていきます。

主はユニークな方です。一口に宣教と言ってもその表れは様々です。主は私たちを十把一絡げに扱うことをせず、それぞれに独特の重荷と使命を与え、特徴ある地域や人々の所へと遣わされます。要配慮の環境の中で神経を研ぎ澄ませながら、一隅を照らすように仕えている方もいます。今回特に実感したことは、宣教は神に呼び集められた超世代、超国籍の世界チームの働きだということです。世界宣教は最終局面に入りその働きはチャレンジの塊です。そ

れゆえ宣教する側は文化背景の違いを超えて、謙遜に調和をもって一丸となっていく必要があります。I 国でも A 国でもインドネシアでも主の多国籍チームが息づいていました。うるわしい姿でした。主は私たちの地道な奉仕を尊く受け留めてくださいます。短期間では結果の出ない分野が少なくありません。しかし主はみ言葉で約束くださいました。

伝道者 11 章 1 節 「あなたのパンを水の上に投げよ。多くの日の後にあなたはそれを見出す。」

この線上でアンテオケ宣教会は前進し続けてまいります。



アンテオケ宣教会

〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 203 号

TEL : 03-5577-7035 E-mail : jimukyoku@jantiochm1977.net

ウェブサイト jantiochm1977.net 郵便振替 00170-4-10379



公式サイト
& SNS

